



世田谷区

本庁舎等整備工事News <Vol.11>

新庁舎の外装工事が進んでいます

3階

アルミパネル

コンクリート

2階

西棟北側の外装の様子

現在、新庁舎では外装工事が進んでおり、外壁や窓ガラスを設置しています。西棟では北側の外装工事が完了し、足場が撤去されて外観が確認できるようになりました。中間層の2階と3階の外装は、コンクリートとアルミパネルを組み合わせた外壁と、庇がついた窓ガラスで構成されています。

2023年11月

世田谷区

庁舎整備担当部

庁舎建設担当課

カラーユニバーサルデザイン推奨色

オレンジ(RGB 246,170,0/CMYK 0,45,100,0)をメインカラーとして作成しています。



西棟

北側外装の施工状況



北側道路からみた外観。窓に取り付けられた庇によってガラスに陰影が生まれ、立体感のある壁面になっています。



外装工事の様子

西棟では8月から外装工事に着手し、外壁や窓ガラスの取付け作業を進めています。今後、建物北側の外構工事に着手するため、先行して北面の外装を完成させ、足場を外しました。



天井木ルーバー検査

内装工事では、待合スペースの天井に木ルーバーを取り付ける作業が進んでいます。木の温もりを感じる優しい空間が出来上がってきました。



2階エントランスホールの施工状況

キュービクル搬入の流れ



① クレーンで吊り上げ

設備機器を地下室へ搬入するための空間をドライエリアといいます



② ドライエリアから搬入



③地下1階 電気室に据え付け

設備工事では、キュービクル（受変電設備）の搬入、据え付けを行いました。盤面ごとにタワークレーンで吊り上げ、建物の西側にあるドライエリア（設備機器を搬入するための空間）を通じて、地下1階の電気室まで搬入しました。

東棟



1階エントランスホールに設置したレリーフ



第一庁舎竣工当時の写真

昭和を代表する洋画家である大沢昌助氏が、レリーフの原画を描きました。

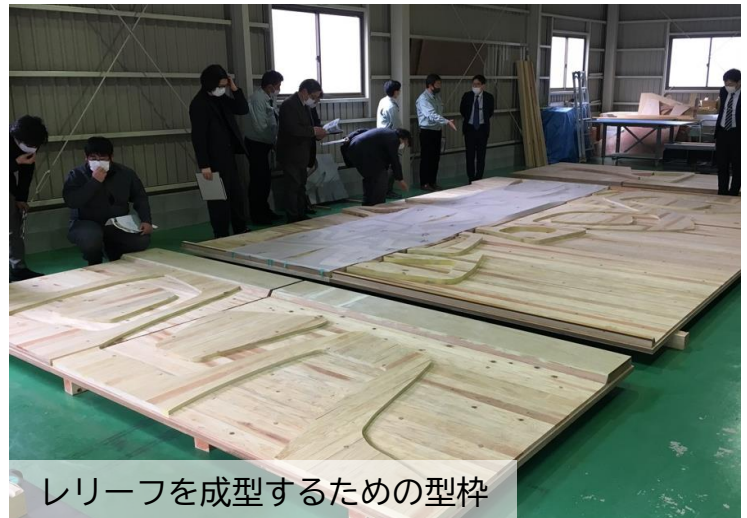
現在、第一庁舎の大階段脇に設えられているレリーフを原寸の約70%の大きさと再現し、東棟1階の区民会館エントランスホールに設置しました。レリーフの原画は今後、第一庁舎竣工当時に着色されていた、こげ茶色とみどり色に塗装し、竣工当時の様子を再現していきます。



大階段

1階エントランスホール
完成予想パース

レリーフ



レリーフを成型するための型枠



配筋、型枠工事の様子

土台となる部分は現場で作りしました

レリーフとともに、旧区民会館ホワイエの大階段も再現し、歴史と空間特性を継承していきます。高い精度で再現するため、手すりや踏面は工場で成形するプレキャストコンクリートで製作し、現場で組立てました。



工場で成形するプレキャストコンクリートで製作

手すり

踏面

大階段の施工状況

東棟

光幕天井

9・10階 議場
完成予想パース



9階・10階 議場 天井の施工状況



光幕天井を設置
する中央部

9階、10階の議場では天井工事が進んでいます。曲線を伴う独特な形の天井をつくるために、下地材の鉄骨を放射状に取り付けています。今後、中央部には、柔らかな光で議場全体を均一に照らす半透明のガラスクロスによる光幕天井を設置する予定です。

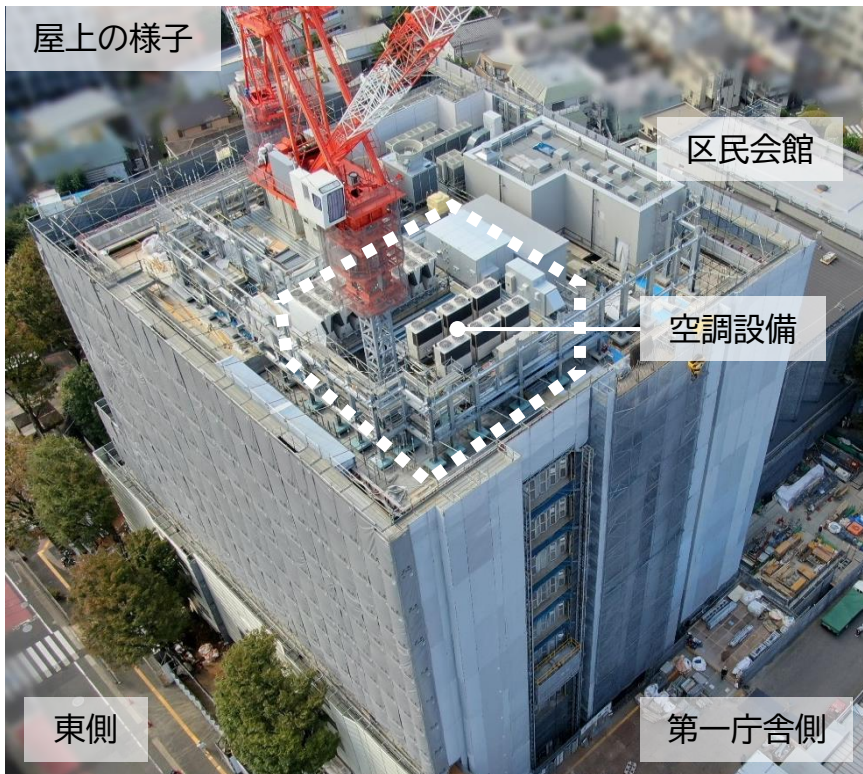
7階から10階では、東棟の特徴であるギザギザした形のカーテンウォール(外装材)が設置されました。取付け方法が特殊なため、一般的なフラットな面の外装よりも難易度の高い工事となりましたが、無事に作業が完了しました。

7階から10階のギザギザした形のカーテンウォール



7階 外装の施工状況

屋上の様子



区民会館

空調設備

東側

第一庁舎側

屋上では、タワークレーンを使用して、室内の温度や湿度等の調整を行う空調設備の搬入、据え付けを行っています。

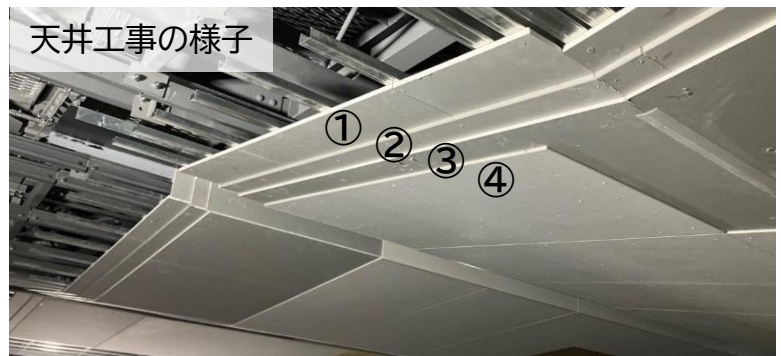


屋上に設置された空調設備

区民会館



区民会館ではホールの天井工事が進んでいます。天井ボードの取付け作業が完了し、照明（ダウンライト）を設置しました。点灯試験を実施して、明るさや照射角度の確認・調整を行いました。



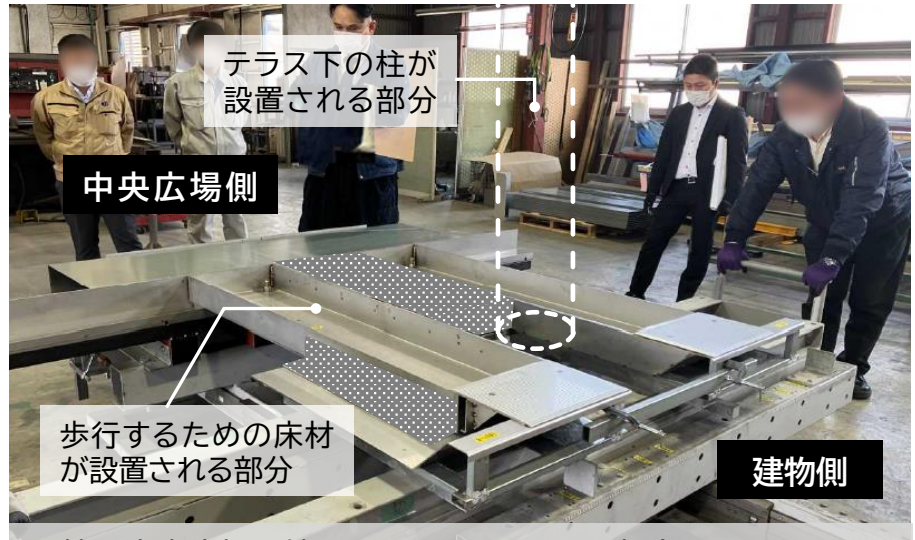
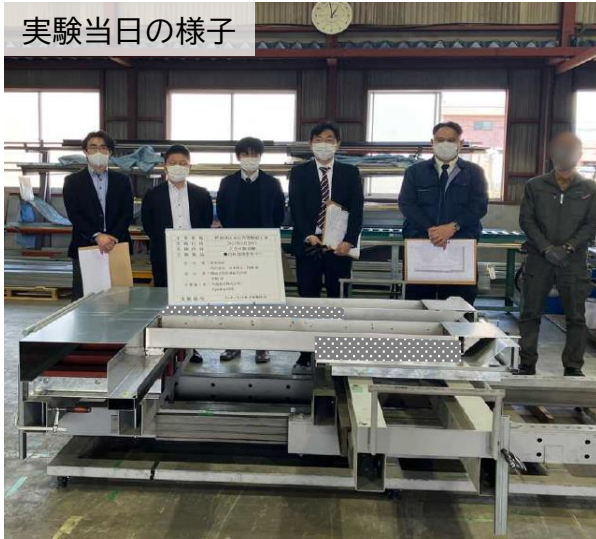
天井ボードを4重に取り付け、断熱性能を確保するとともに遮音性を高め、ホールからの音漏れを防ぎます。



楽屋棟では足場が一部撤去され、外壁の状態が確認できるようになりました。

エキスパンションジョイント (EXP.J) 可動実験

実験当日の様子



西棟と中央広場の境目に設置するEXP.Jで実験を行いました。

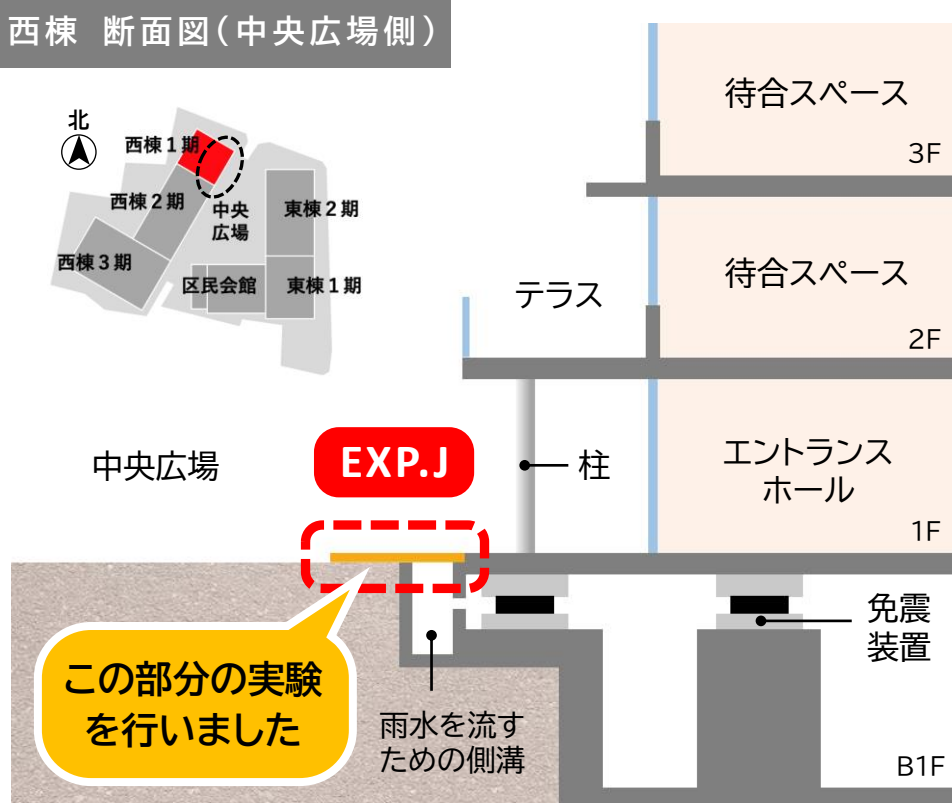
免震建物と地面との間にある隙間（クリアランス）をカバーするエキスパンションジョイント (EXP.J) の安全性を検証するため、設計・監理者（佐藤総合計画）及び施工者（大成建設）同行のもと、製作工場に赴き、可動実験を行いました。実験は西棟と中央広場の境目に設置する屋外用のEXP.Jを実際に製作して行い、想定している建物の最大可動幅(60cm)を様々な方向に繰り返し動かしながら、地震時における部材の動き方を確かめました。



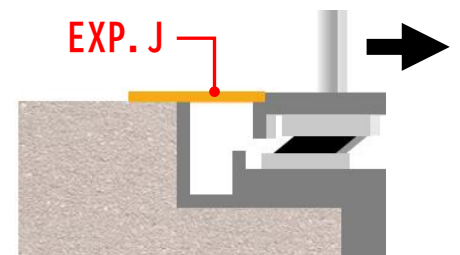
想定している建物の最大可動幅（60cm）を様々な方向で再現し、地震時の部材の動き方を検証しました。

※写真の [] の範囲は部品の知的財産に関する情報が含まれているため、非公開としています。

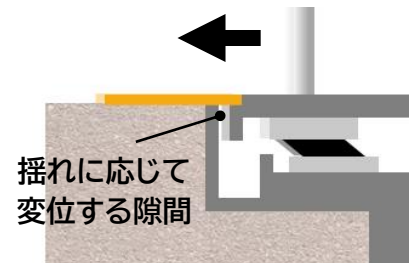
西棟 断面図（中央広場側）



地震時に建物があらゆる方向に最大60cm動くことを想定



EXP.J が揺れに追従し、免震建物と地面の隙間（クリアランス）をカバーします



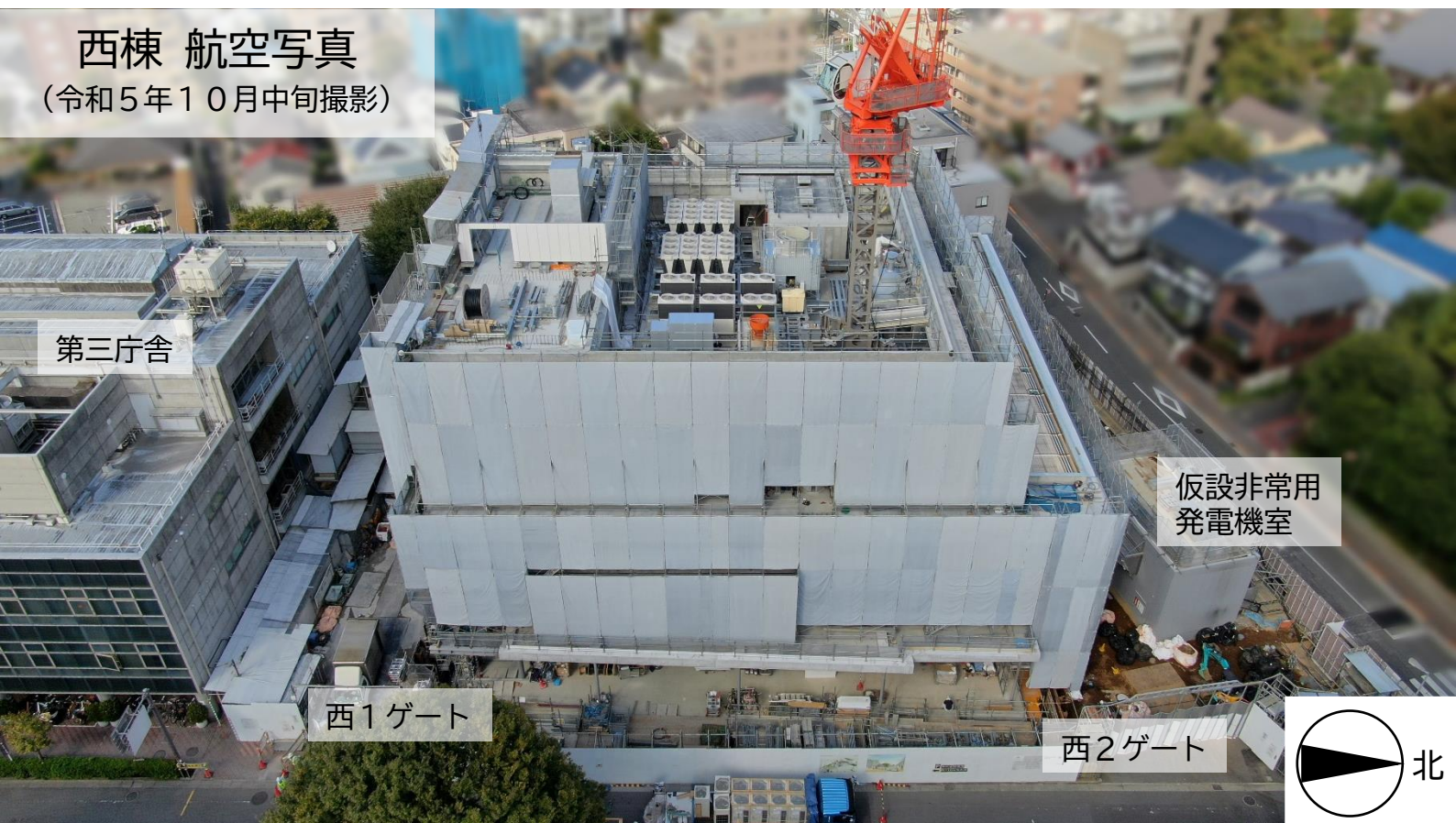
東棟 航空写真

(令和5年10月中旬撮影)



西棟 航空写真

(令和5年10月中旬撮影)



作成 世田谷区庁舎整備担当部庁舎建設担当課
〒154-8504 東京都世田谷区世田谷四丁目2 1 番2 7号
電話：03-5432-2986 FAX：03-5432-3006
協力 大成建設株式会社東京支店